

◎このおしばいに、しゅつえんしている人<sup>ひと</sup>たち◎

こうちょう やまねこ みやじまたけし  
校長、山猫A●宮島岳史  
きょうし やまねこ おおのあけみ  
教師、山猫B●大野朱美  
じょしゆ りょうし わだゆうた  
助手、獵師●和田裕太  
せいと しんし つかもとじゆんや  
生徒A、紳士A●塚本淳也  
せいと しんし こだまゆうだい  
生徒B、紳士B●小玉雄大  
いちねんせい りょうりちよう いしませい  
一年生、料理長●伊島青



◎このおしばいをつくっているのは、東京都杉並区の公共劇場<sup>とうきょうとすぎなみく こうきょうげきじょう</sup>です◎

げんさく みやざわけんじ じょうえんだいほん つくだのりひこ えんしゆつ にしざわえいじ そうち ながたよしこ  
原作●宮沢賢治 上演台本●佃典彦 演出●西沢栄治 装置●長田佳代子  
しょうめい よこはらゆう おんがく そのだようこ おんきよう しまたけし いしろう なかわらゆきこ  
照明●横原由祐 音楽●園田容子 音響●島猛 衣裳●仲村祐妃子  
ステージング・振付●神在ひろみ 舞台監督●荒牧大道  
ぶたいかんたくじょしゆ くわはらあつし かわちてつじろう ぶたい かとうますみ やまもとしゅうたろう ながのあきひろ  
舞台監督助手●桑原 淳、河内哲二郎 舞台スタッフ●加藤祐未、山本秀太郎、永野誠優  
しょうめいそうさ これやすり え まるやまたけひこ おんきようそうさ せりざわゆう いしろう ばばあきこ  
照明操作●是安理恵、丸山武彦 音響操作●芹澤悠 衣裳スタッフ●馬場晶子  
うんそう しんにほんぶつりゅう ながやまさのり ふじわらてつひみ  
運送●新日本物流（永山政典、藤原徹史）



◎実施日程<sup>じっしにってい</sup>

- 11月17日（水）宮崎県 延岡市立一ヶ岡小学校
- 11月19日（金）大分県 佐伯市立佐伯東小学校
- 11月22日（月）鹿児島県 志布志市立宇都中学校
- 11月24日（水）鹿児島県 いちき串木野市立串木野西中学校
- 11月25日（木）鹿児島県 いちき串木野市立市来小学校
- 11月26日（金）鹿児島県 伊佐市立菱刈中学校

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

れいわ ねんど ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう  
令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-

# フランドン農学校の豚

## ～注文の多いオマケ付き～

へいせい ねんどこうせいろうどうしやうしやかいほしやうしんぎかいすいせんじどうふくしづんかざい  
平成30年度厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財



きかくせいさく ほうじんげきじょうそうぞう ざ こうえんじ  
企画制作:NPO法人劇場創造ネットワーク(座:高円寺)



「文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 - 」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーションの育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに美演指導又は鑑賞指導を行います。また、美演では、出来るだけ子供たちにも参加してもらいます。

# どうして人間は食べられないのに 豚は食べられてしまうの？

## ●あらすじ

雪深いフランドン王国にある農業学校。

今日は校長先生も参加して、晩さん会が開かれます。

おいしそうな料理にみんなわくわく。

でも、「待って！」それを見ていた1年生が声を上げます。

だって、その料理に使われている「豚」は……。

1年生が観察しているのは、学校で育てている豚。

なんでも食べる食いしんぼうの豚。

生徒たちから「糞や水から、肉や脂肪をつくる不思議な力を持っている生きもの」

なんていわれて、豚はちょっと自慢気だ。

けれどある日、えさの中に自分と同じ短い毛が使われている歯磨楊枝をみつけた。

なんだか変だ……。

それから何べんもねたり起きたりするうちに、ずんずん太った豚は、

今度は畜産学の先生のふるまいに、首をかしげる。

身体をあちこち測られたり、特別のえさを食べさせてもらったり、

いままでとはちがう待遇だぞ、どうしてだろう？……。

そしてある日、フランドン王国の王さまから、

「食肉にする時には、その家畜の許可が必要だ」という法律が発令されて……。

このお芝居は、詩人・童話作家として知られる宮沢賢治さんが書いた、

『フランドン農学校の豚』と『注文の多い料理店』の二つのお話から来ています。

どちらも大正時代後期に書かれた「食べる」にこだわったお話です。

気分がいいといたって、  
結局豚の気分だから、  
苹果のようにさくさくし、  
青空のように光るわけでは  
もちろんない。  
これ灰色の気分である。  
灰色にしてややつめたく、  
透明なところの気分である。  
さらばまことに  
豚の心もちをわかるには、  
豚になつてみるより致し方ない。

『フランドン農学校の豚』

豚肉料理の歌  
作詞：佃典彦 作曲：園田容子

トンカツ チャーシュー 回鍋肉  
豚しゃぶ トン汁 生姜焼  
豚肩ロースはソテーや焼き肉  
骨付き肉ならスペアリブ  
煮込みするなら赤身のモモ肉  
煮てよし 焼いてよし 揚げてよし  
キャベツ 玉葱 ニンジン ピーマン一緒に炒めて相性もよし  
ビタミンたっぷり身体によし 何と言っても味がよし♪



舞台写真：ヤンスウワ



座・高円寺は東京都杉並区の公立劇場です。劇団ではありません。  
NPO法人劇場創造ネットワークは杉並区から指定管理を受けて劇場  
を管理運営しています。演劇だけでなく、ダンス、音楽、落語、絵本読み  
聞かせ、ワークショップ、カフェレストラン、演劇の学校である「劇場  
創造アカデミー」、阿波おどりの練習など様々な活動で地域の賑わい  
を創出しています。2009年オープン。

NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺 <https://za-koenji.jp/>  
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-1-2  
TEL：03-3223-7500